

代表質問

湘南フォーラム

出村 光議員

平成25年度当初予算から

問 市長にとって2年度目の予算編成となるが、選挙公約の実現と今後の展開は。

市長 子供たちが確かな夢を持てる平塚にしていくことを念頭に編成した。マニフェストは総合計画実施計画などに取り入れて進めてきた。成年後見利用支援センターの開設など、実現に向けて進めている段階のものもある。また平成25年度からは、幼稚園と保育園の一元化などのマニフェストを着実に進める。

行政改革の取り組み

問 今後のネーミングフィッシュ導入の進め方を伺う。

市長 企業が応募しやすい方法などを研究し、企業訪問を行って応募者の確保に努める。

問 駐車場有料化推進事業に「ひらつかアリーナ」は含まれているのか。また、総合公園の駐車場の増設は考えているのか。

市長 アリーナについても有料化を検討したい。総合公園は、混雑が予想される場合は当面の間、周辺の企

今後の財政見通し

問 大型事業を踏まえた長期的な財政の見通しを伺う。

市長 平成28年度以降の大型事業の事業費が明らかになった時点で財政見直しを構成していく。社会保障関係費が増加傾向で、市税の大幅な増収が期待できないことから、将来につながる規律ある財政運営を行う。

三大事業の進捗状況は

問 新庁舎建設工事の状況と全工事の終了時期を伺う。

市長 基礎の打設が終わると免震装置の据え付けに入る。平成26年5月に第1期工事の完成を予定しており、周辺道路の整備を含む工事全体の完成は、平成29年3月を予定している。

問 次期環境事業センターの整備の状況と、余熱利用施設の内容を伺う。

市長 プラントなどの工事は今年7月の試運転までに完了し、9月末に竣工予定である。余熱利用施設については、平成28年度の供用開始を目標に地元と協議を重ねている。

問 相模小学校の移転につ

3月定例会では、各会派を代表して5人の議員が施政方針や、一般会計予算をはじめとする平成25年度の各会計予算などを中心に代表質問を行いました。
※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

いて、平成30年の開校に向けた取り組みを伺う。

市長 教育委員会が移転にかかる整備方針の取りまとめを行っている。平成25年度はこの整備方針を基本計画を作成していく。

問 市民病院整備事業の状況と、医療機器購入計画の考え方を伺う。

市長 新棟と北棟については、当初予算議決後に工事請負契約を締結し、旧救急棟などの解体工事の完了後に新棟などの工事に着手していく。医療機器については更新計画を策定し、費用は約26億円と推計した。

問 学校給食共同調理場の耐震補強をもっと早く行うべきと考えるが見解は。

教育長 関係部課との調整を進め、できるだけ早期に着手できるよう努める。

平塚市学校給食検討委員会報告書から

問 学校給食共同調理場の耐震補強をもっと早く行うべきと考えるが見解は。

教育長 関係部課との調整を進め、できるだけ早期に着手できるよう努める。

問 中学校給食の必要性や可能性は検討したのか。

教育長 教育委員会定例会で、生徒全員が同じものを食べることを意義や、保護者の負担軽減などが検討された。また中学校給食の実施の可能性については、市の財政に大きな負担がかかることもあり、校舎の老朽化に伴う大規模改修や、トイレの洋式化などの施設整備が優先されるべきである

などの意見があった。
問 市長のマニフェストに「中学校給食を実現するためによりよい方法を研究・検討する」とあるが、市長の現在の思いを伺う。

清風クラブ

坂間 正昭議員

平成25年度施政方針から

問 本市の将来展望と具体的な行政運営を伺う。また新年度予算にマニフェストをどう反映させたのか。

市長 「ひらつか協働経営プラン」を着実に推進して行政運営に取り組み、総合計画実施計画の推進を図り、総合計画に掲げている将来像の実現を目指していく。マニフェストの反映については、待機児童対策として「公立幼稚園と公立保育園の一元化」や、不登校などの解決に「スクールソーシャルワーカーの配置」を盛り込んでいる。

がでてくるので、その報告を尊重したい。
待機児童対策
問 待機児童の問題は、女性が職場復帰しやすい環境を整備する面からも大変重い課題である。どのように対策を展開していくのか。
健康・こども部長 平成23年4月に待機児童ゼロを達成したが、その後また待機児童が発生している。当面は既存施設の建て替えや改修に合わせた定員の拡大と、入所定員の弾力運用を効果的に実施していく。早急な対策としては、既存施設を利用して待機児童対策を展開していく。

都市基盤整備にかかるとる施策

問 ツインシティ整備事業の具体的な進め方と、完成の時期を伺う。

市長 平成25年度に市街化区域編入などの都市計画決定、環境影響予測評価書の公告・縦覧、土地区画整理組合の設立認可を同時に行うことを目指している。土地区画整理組合設立準備会は、地権者の土地利用の意向や企業の進出動向を把握するヒアリングなどの作業を進めている。組合設立後は、ツインシティ大神地区の土地を効果的に活用できる適切な換地計画を立て、社会的ニーズを捉え、PDCAサイクルに基づいた事業展開を図っていく。

平塚市総合計画25年度版実施計画

問 経済の活性化に道路の整備は重要である。市道真土・金目線と、吉沢・土屋線の拡幅や歩道の整備計画を伺う。

企画部長 真土・金目線は、真土小学校入口交差点の渋滞の解消を図るため、右折帯設置に向けた用地買収などを進めていく。吉沢・土屋線は、座禅川橋交差点の

25年度は内部の評価とする理由と、その効果を伺う。
市長 昨年度実施した事業仕分けの成果を活用し、関連・類似する事業の見直し、行政評価の対象事業や指標の見直し、総合計画と各事業との体系づけなどを実施することとした。

改良工事を進めており、今後はめぐみが丘入口交差点付近や吉浜バス停付近などの改良を優先的に行う。また、本線は土沢中学校などの通学路となっているため、道路残地などを利用した歩道の拡幅を進めていく。

ひらつか協働経営プラン2013

問 債権を一元管理することとは財政の健全化と市民負担の公平性の確立につながるが、事務の効率も向上する。債権管理条例を整備する自治体が増えているが、導入の考えはあるのか。

税務担当部長 所管する部署が現状を改善し、債権確保を進めていくことが重要である。そのうえで状況を見ながら、債権管理の専門的組織の設置や、債権管理条例の制定を検討していく。

問 相模小学校の移転は平成30年度の開校を目指している。平成22年度以降、体罰の報告は1件もない。

問 相模小学校の移転は平成30年度の開校を目指している。平成22年度以降、体罰の報告は1件もない。

計画のすべての事業に対して、行政評価や決算状況、時代性を勘案して見直しを行い、予算に反映させた。
問 本市は財政力指数が3年連続で1を割り、地方交付税の交付団体となったが、自立を目指すどのような改革に取り組むのか。
市長 アウトソーシングの推進や、効果のある歳入確保策を検討する。さらに、

公明ひらつか

伊東 尚美議員

市長に問う 25年度当初予算から

問 平成25年度は市長の1期4年の折り返し点で仕上げの時期に入る。マニフェストや総合計画との整合性を高め、予算編成に対する市長の考えを伺う。

市長 市税収入の増加が見込めない中、総合計画実施

取り組みを進めるとのことだが、事業計画を伺う。
教育長 現在は整備方針の取りまとめを行っている。平成25年度は基本計画の作成を考えており、26・27年度は建築設計、28・29年度は建築工事を行い、30年4月の開校を目指す。

問 本市のいじめの現状は。
教育長 平成24年4月から8か月間で、小学校では37件発生し、そのうち15件が解消し、21件は一定の解消が見られ、現在も経過を注意深く見守り支援を行っている。また、中学校では64件発生し、そのうち39件が解消し、23件は一定の解消が見られ、同じく継続的な支援を行っている。

問 体罰は平成21年度に2件発生したが現状はどうか。
教育長 平成21年度の反省から根絶に取り組んでおり、小・中学校校長会において定期的に注意喚起を促している。平成22年度以降、体罰の報告は1件もない。

【133面へ続く】